

平成30年度 仙台市中総体陸上競技大会 競技注意事項

本大会は、2018年度日本陸上競技連盟および、大会要項（申合せ事項）に準じて実施する。ただし、第162条5を適用しない。出場選手は次の注意事項をよく守り、出場停止にならないように特に注意すること。

- 1, 招 集
ア、選手招集所に余裕をもって集合し競技者係の指示に従うこと。
イ、選手招集所は第3ゲート外側、テニスコート脇の器具庫に設ける。
4種競技はトラック種目20分前、フィールド種目30分前に選手招集所で招集を行う。
棒高跳びは招集時間に現地に集合すること。
ウ、トラック競技は競技開始の20分前に招集完了すること。
ただし、組数の多い予選種目については時間差を設けて招集を行う。
詳しくはプログラムの競技日程で確認すること。
エ、フィールド競技は競技開始の60分前に招集完了とする。ただし、走幅跳の決勝は30分前に招集完了とする。
- 2, 練 習
直線走路において行い、お互いに譲り合って練習すること。詳しくはプログラム記載の使用方法を参照。なお、砲丸投げの練習は禁止する。
- 3, ナンバーカートの規程のものを胸、背にしっかりと縫いつけること。つけない選手の出場は認めない。棒高跳、走高跳、走幅跳はどちらか片方でよい。
- 4, 選手変更
登録選手以外の変更は一切認めない。補欠との変更は1日目9時30分までに本部で行うこと。
- 5, 競技運営
 - ①トラック及びフィールド内にはその競技を行う競技者並びに役員（審判および該当補助員）以外は立ち入ることができない。選手への付き添いはできない。
 - ②競技者がレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んだり、使用したりすることはできない。
 - ③トラック競技の着順及び計時は原則として写真判定（1/1000秒）で行う。
 - ④トラック競技における予選通過者の+αの場合は全体のタイムの上位者とする。すべてのリレーの予選はタイムレースとする。
 - ⑤タイムにより次のラウンドの出場者を決める場合、写真判定主任が同記録者の写真を拡大してより細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決められないときは該当競技者の抽選とする。ただし、県大会出場を決める順位が決められない場合は、該当競技者による県大会出場権のための順位決定を行う。
 - ⑥セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者は安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走り、他の競技者の妨害をしない。
 - ⑦3000m競技におけるスタートは2グループに分けて行う。
 - ⑧フィールド競技における競技場内での練習は審判員の指示により行う。
 - ⑨走幅跳、棒高跳に出場する競技者は助走路の外側に主催者の準備したマーカーを2個までおくことができる。
 - ⑩棒高跳に出場する競技者は支柱を自分の希望する位置に移動してもよい。
 - ⑪混成競技では1種目でもスタートしなかったか、また、1回でも試技をしなかったときは、それ以降の種目に参加することは許されず、競技を棄権したものとみなされる。
 - ⑫フィールド競技（走幅跳、走高跳、砲丸投）について、30秒以内でスタートしなければならない。棒高跳は1分でスタートしなければならない。
 - ⑬走幅跳の教員審判によるコーチングのために、コーチングエリアを設ける。その中でのみコーチングが可能とする。スタンドにはコーチングエリアは設けない。
 - ⑭不正なコーチングをした場合、選手は失格になる場合があります。選手が失格になった場合、その種目のみならず、他競技にも出場できなくなります。
- 6, リレー
 - ①オーダー用紙は該当競技実施日に正面入り口で学校受付の際に配布する。
 - ②オーダー用紙は、中体連規定により競技開始1時間前に競技者係に提出すること。
 - ③リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。
 - ④どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち、2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。

- ⑤最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り他の競技者と交代することができる。
- ⑥交代とは、一度出場した競技者が他の競技者と代わることであり、最初のラウンドにおいてリレーに申し込んでいない競技者が出場する場合は交代とみなさない。
- ⑦前のラウンドに出場した競技者が一度他の競技者と代わり、再びリレーチームに戻る場合は、新たな交代競技者数には加算しない。
- ⑧リレー競技においてはチームの出場者は同一のユニフォームを着用するものとする。
- ⑨最大50mm×400mmの粘着テープをダッシュマークとして1カ所使用することができる。各校で準備した物を使用すること。ただし、後始末をすること。
- ⑩低学年400mRと共通400mRは、全ラウンドを通してどちらか一方のみ出場することができる。
- ⑪テイク・オーバー・ゾーンは30mとし、次走者のスタートはゾーン内からスタートしなければならない。

7、走幅跳のパスラインは下記の通りである。

| | |
|---|---------|
| 男 | 5 m 6 0 |
| 女 | 4 m 5 0 |

8、走高跳、棒高跳におけるバーの上げ方は次のようにする。

| | | | |
|-----------|---|-----------------------------------|------|
| 走高跳 | 男 | 1m40-1m45 - 50 - 55・・・以上 3 cm きざみ | 1m35 |
| | 女 | 1m25-1m30 - 35 - 40・・・以上 3 cm きざみ | 1m20 |
| 四種 走高跳 | 男 | 1m35-1m40 - 45 - 50・・・以上 3 cm きざみ | 1m30 |
| | 女 | 1m15-1m20 - 25 - 30・・・以上 3 cm きざみ | 1m10 |
| 棒高跳 | 男 | 2m30-2m40 - 50 - 60・・・以上 10cm きざみ | 2m20 |

9、抗議

- ①競技の結果または行為に関する抗議は、その種目の正式発表後30分以内に監督が直接審判長に口頭で申し出なければならない。
- ②次のラウンドが行われる競技種目ではその結果が正式に通告されてから15分以内に申し出なければならない。
- ③裁定に不服の場合は委託金（1万円）を添え、総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。なお、ジュリーの裁定が最終決定となる。

10、表彰

決勝終了後直ちに各種目8位までの入賞者は大会本部席後方に集合すること。
表彰はユニフォームを着用すること。

11、その他

- ①スタートについて 英語コール（On your marks ~ Set）で行う。不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者はすべて失格とする。その場合はその後の種目に出場できない。
- ②スタート時の不適切行為については、2枚のイエローカードの提示を受けた競技者について、該当種目のみを失格とし、それ以後のすべての種目から除外しない。
- ③県大会出場は個人種目12名、リレー男子9チーム、女子9チーム。棒高跳、四種競技は記録による。
- ④スパイクは全天候用スパイクを使用すること。（ピンの数11本以内、ピンの長さは9mm以内 走高跳については12mm以内、先端の直径は4mm以内でなければならない）
- ④集団応援は他の競技の支障のないように行う。特に、フィールド競技の進行に配慮する。
- ⑤集団応援は、メインスタンドでは禁止とする。芝スタンドでは、通路を空けて実施すること。なお、手すりによりかかたりしないこと。
- ⑥救護について、応急処置は行うが、以後の責任は負わない。
- ⑦中学生らしくない身だしなみ（頭髪の染色、髪型、化粧、刺青、アクセサリ等）の選手の出場は認めない。
- ⑧室内走路の入場を制限します。審判以外立ち入り禁止です。選手も必要な場合以外は立ち入り禁止となります。当然保護者や引率のみの教員も不可です。